



ニコニコ箱

ありがとうございました

村田 昌之さん 堀川支局長本日はありがとうございます。  
 谷口 文利さん 岸裏副幹事ご苦労様です。  
 中山 恒夫さん 堀川晶伸支局長をお迎えして。卓話楽しみです。  
 笹島 良雄さん 読売巨人軍、オメデトー。  
 岸裏 廣澄さん 1ヶ月休みました。大変申し訳ございません。  
 初めて幹事役をいたします。よろしく申し上げます。  
 野上 泰造さん 産経新聞支局長堀川様よろしく申し上げます。  
 山本 進三さん 先週の例会でお休みをいただきましたが、例会用具  
 を持ち帰っていたため迷惑をおかけしました。  
 申し訳ありませんでした。



おめでとうございます!

阪神タイガース応援団一同

〔皆出席表彰〕

堀岡 忠男さん 1年皆出席表彰

【本日の累計 31,590円(計8名 9件)(お誕生日お祝い 503,000円 皆出席表彰 115,000円 その他 2,142,338円) 累計額 2,760,338円】

本日の例会 4月21日(木)

- 卓話「ふるさと・わが町 紀州の地名」 筒井 洋和さん
- お誕生日お祝い  
 檜畑 友洋さん 4月 3日 山東 勝彦さん 4月11日  
 上中 崇司さん 4月11日 後 亮 さん 4月13日  
 中山 恒夫さん 4月26日 瀧川 嘉彦さん 4月27日
- ピアノ演奏 中井 利枝さん  
 哀しみの終わるとき(Michel Polnareff)  
 ひまわり(Henry Mancini)

前回の例会 4月14日(木)

- クラブフォーラム「雑誌」
- 卓話「ネット時代と新聞」 産経新聞社和歌山支局 支局長 堀川 晶伸さん
- ロータリーソング 真野 賢司 ソング副委員長  
 「四つのテスト」
- 出席報告 真野 賢司 出席副委員長  
 会員数 49名(内出席規定適用免除会員11名)

4月14日(本 日)	34名	77.3%
3月31日(メーキャップ後)	37名	88.1%

次回の例会 4月28日(木)

- 卓話「経営について」 税理士 石倉 督斗さん

クラブ名	日 時	内 容
和歌山城南R. C.	4月21日(木)	卓話「支える人を支える」 わかやまNPOセンター副理事長 支える人を支えるネットワーク発起人 有井 安仁さん
和歌山南R. C.	4月22日(金)	例会変更
和歌山中R. C.	4月22日(金)	クラブフォーラム「雑誌」
和歌山北R. C.	4月25日(月)	クラブフォーラム「地区協議会打ち合わせ」
和歌山アゼリアR. C.	4月25日(月)	クラブフォーラム「アゼリアR. C. のホームページ」 雑誌・IT広報委員会
和歌山R. C.	4月26日(火)	「クラシックギターで名曲を」(生演奏でおきき下さい) カフェ&パーmusica ギターリスト 坂本 幸亮さん
和歌山サンライズR. C.	4月26日(火)	
和歌山西R. C.	4月27日(水)	テーブル別ミーティング〜クラブ活動についての意見交換〜
和歌山東南R. C.	4月27日(水)	クラブフォーラム「社会奉仕」

●メイキャップ状況 ● (敬称略)

- 4月9日(土) 会長エレクト研修会 松田 洪毅、伊藤 裕通、糟谷 元春
- 4月11日(月) 和歌山北R.C. 村田 昌之 / 4月12日(火) 和歌山サンライズR.C. 松田 弘治
- 4月15日(金) 和歌山中R.C. 角谷 芳伸、黒田 純一、山野 武彦、吉田 篤生

国際ロータリー第2640地区 例会場/ルミエール華月殿 和歌山市屋形町2-10 TEL (073) 424-9392 例会日 木曜日 12時30分  
 和歌山東ロータリークラブ 事務局/〒640-8142 和歌山市三番丁6関西電ビル5F TEL (073)432-4343・FAX (073)432-4845  
 創立/1959年2月23日 会報・広報委員会 谷口 文利 笹島 良雄 岡野 年秀 堀岡 忠男 角谷 芳伸



「地域を育み 大陸をつなぐ」

「地域に広げよう、友情の輪」

国際ロータリー 第2640地区 和歌山東ロータリークラブ

URL http://www.werc.jp E-mail info@werc.jp

2011年 4月21日(木)

週報 / VOL.52 No.37(通巻2492)

会長報告

野上 泰造 会長



皆様、こんにちは。会長報告を申し上げます。

東日本大震災への義援金については、市内10クラブの会長・幹事会において、各クラブが独自に対応することになりました。よって、我がクラブも理事・役員会で改めて金額、送金先を決めたいと思います。また、和歌山市子供支援センターから、この震災における孤児を引き取り、高校卒業までをサポートする事業への協力の要請が有りました。これは、我が子と同様に同居して、育てるもので、一切の補助や手当て、養育費用はホストファミリーが負担し、最低6カ月以上ホームステイを引き受けることが条件になっています。詳しく内容が決定し次第、ご報告させていただきます。

いよいよプロ野球が開幕しました。阪神は2連勝で、出だしよしですが、巨人も連勝しました。楽天の連勝は、地元被災地に、大きな勇気をもたらしており、大変嬉しいことです。

幹事報告

岸裏 廣澄 副幹事



- ①和歌山南ロータリークラブより50周年記念式典&祝賀会の中止の通知
- ②2011年RI国際大会第2640地区ジャパンナイトへの案内
- ③こぼと学園だより
- ④和歌山県交通遺児を励ます会より機関紙「サンフレンド通信」

—(2010-2011 2011-2012 合同理事・役員会議事録)—

日時 2011年3月31日(木) 17:30~ ダイワロイネットホテル

東日本大震災義援金について

災害積立金と3月31日夜間例会の余剰金、個人寄付金を併せて寄付する。

金額と送金先は2010-2011年度の理事・役員会で決める。…承認

卓 話

ネット時代と新聞

産経新聞社和歌山支局 支局長 堀川 晶伸さん



1. 日本の新聞の特色

- 少ない種類、多い発行部数。  
 新聞社=108社（2010 3月、日本新聞協会加盟）  
 発行部数=5035万2831部（2009年調べ）  
 ⇒全国紙が広範な読者と地域をカバーしている
- 減少する発行部数。  
 1999年は5375万1712部：1世帯あたり1.15部  
 2009年：1世帯あたり0.95部

2. 日本のインターネット

- 極めて新しいメディア⇒個人での情報発信が可能になった。
- 利用者は9091万人（2008年「報通信利用動向」）←1997年は572万人

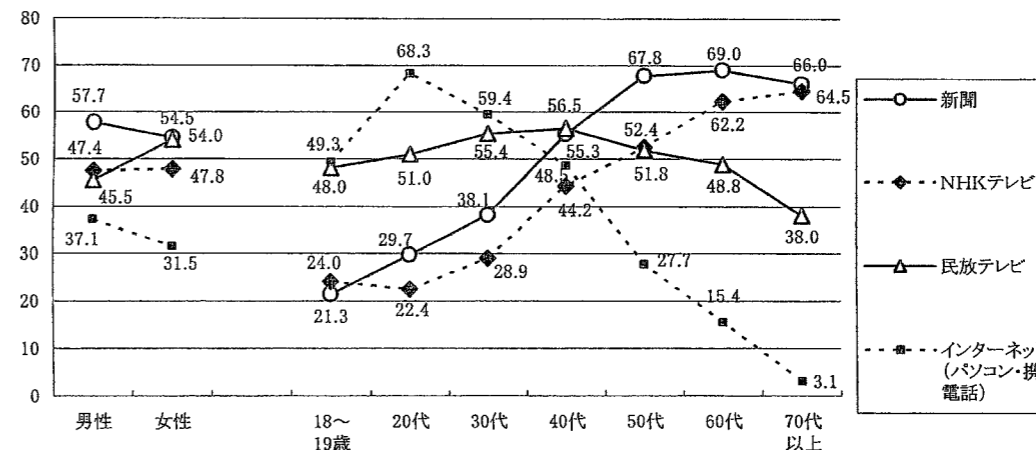
3. 受け手の意識変化

メディアの印象・評価	新聞	ネット
時代を先取りしている	9.2	44.2
情報が早い	15.0	51.0
専門的である	18.0	25.0
多種多様な情報を得ることができる	34.0	49.9
情報量が多い	33.4	52.2
情報が正確である	42.4	7.4
知的である	49.0	10.9
バランスよく情報が得られる	36.5	16.5
わかりやすい	32.3	20.8
安心できる	42.8	3.6

※「全国メディア接触・調査評価」（日本新聞協会 2009年）

- 情報の速報性や量などの役割は、すでにネットにその役割を譲っている。
- 世代間の意識の意識格差も大きい。

例)「情報源として欠かせない」(新聞56.0、民放50.0、NHK47.6、ネット34.1)



※「メディアに関する全国世論調査」(新聞通信調査会 2010年)

4. ネットへの取り組み

《産経新聞の場合》

- 2007年10月にマイクロソフト社と提携し、ニュースサイト「sankei web」を「MSN産経ニュース」に変更。子会社「産経デジタル」の立ち上げ。
- 現在の月間アクセスは2000万アクセス。
- 記者が新聞用に記事を出稿すれば、基本的にはネットでも使用可能なシステムを、ハード面と組織面で整備。
- 現場の記者に「ウェブファースト」の意識が求められる。  
 (課題)
- 紙面で取り上げるニュースとネットでアクセスの多いニュースのギャップ。
- ネットと新聞の良さを融合させたコンテンツの開発。
- ビジネスモデルの構築。

5. 新聞に求められるもの

① 信頼性と責任の担保

- 情報の「信頼性」と「わかりやすさ」←受け手からの期待は高い。
- ネット時代だからこそ、「引用」ではなく、実際に現場に行き、その事象を見ているかどうか情報が情報の価値を決める。
- ユーザーから一定の料金を得る代わりに、コストをかけて取材し、発信した情報に責任を持つことができるプロ集団としての「新聞社」。

② 独自性の発揮

- 「新聞は全て同じ」←新聞離れの要因のひとつ。
- 論調を含め、積極的に「個性」を出すことでユーザーを維持・獲得。